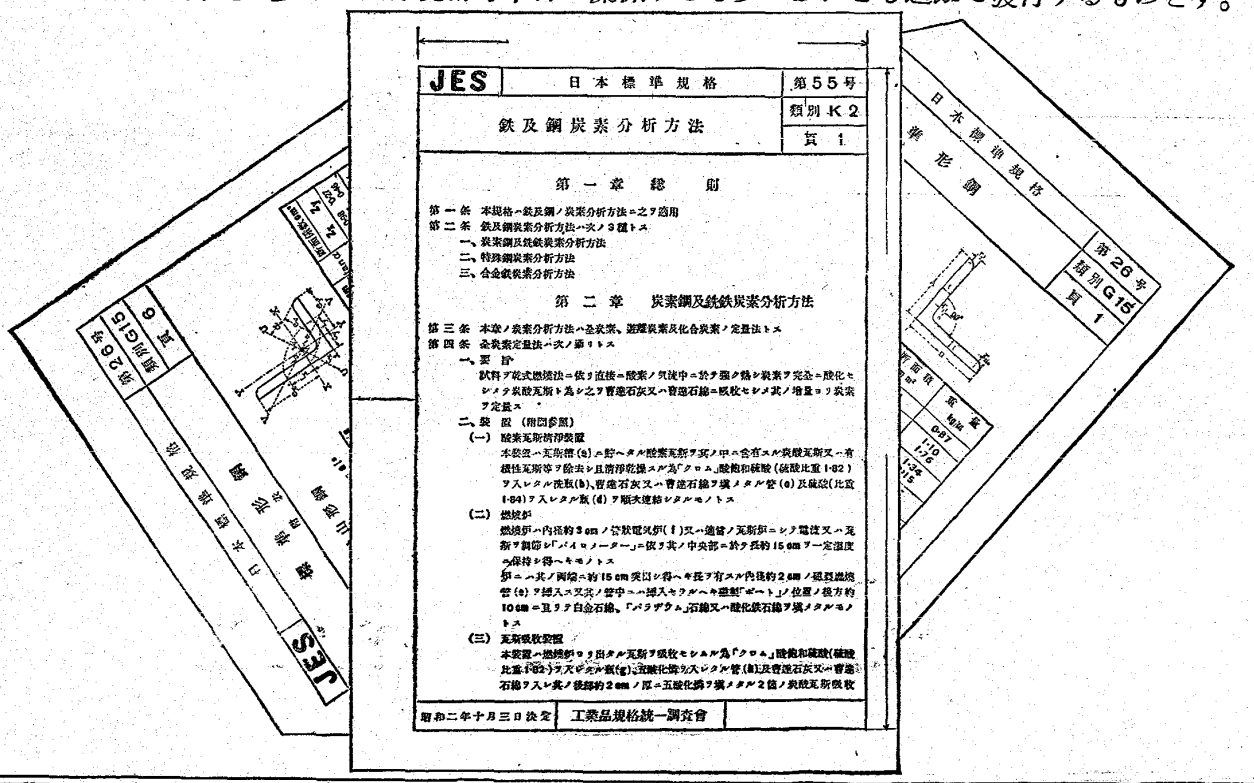
會　告　日本鐵鋼協會發行

日本標準規格　私費印刷分譲の件

1. 內容、形式、寸法共　商工省御編纂　のものと同一なり。
2. 代金は　1 枚に付き　金壹錢也とす。
　但し郵稅は實費。第四種郵便にて 17 枚迄で 2 錢　18 以上 36 枚迄で　4 錢　其れ以上は 20 枚內毎 2 錢增しのこと。

本會の發行　日本標準規格目次

規格番號	類別番號	名稱	決定年月日	商工省告示番號	右同告示年月日	枚數
第1號	B1	金屬材料抗張試驗片	大正 11.10.19	43	大正 14. 3. 5	2
2	B2	針金の徑、薄板の厚及其の稱呼	〃	44	〃	1
3	Z1	寸法標準數	13. 3. 27	17	14. 9.18	1
4	Z2	等比標準數	〃	〃	〃	1
5	G1	鍛鋼品	〃	9	〃	4
6	G2	鑄鋼品	〃	10	〃	4
7	G3	鑄物用銑鐵	〃	11	〃	1
15	G4	水管罐用繼目無鋼管	14. 3.27	18	15.10.26	3
16	G5	圓罐用繼目無鋼管	〃	19	〃	3
17	G6	機關車罐用繼目無鋼管	〃	20	〃	2
18	G7	一般用繼目無鋼管	〃	21	〃	3
19	G8	瓦斯管	〃	22	〃	1
20	G9	構造(橋梁、建築其の他)用壓延鋼材	〃	23	〃	6
21	G10	造船用壓延鋼材	〃	24	〃	5
22	G11	罐用壓延鋼材	〃	25	〃	6
23	G12	鐵道車輛用壓延鋼材	〃	26	〃	6
24	G13	壓延鋼材の寸法及重量の公差	〃	27	〃	2
25	G14	標準棒鋼	昭和 2.10 3	28	昭和 4. 5.13	4
26	G15	標準形鋼	〃	29	〃	16
36	B8	管用ねぢ	大正 15. 6.23	26	昭和 2.10.22	1
37	B9	管接手ねぢ	〃	27	〃	1
38	G16	瓦斯管の寸法	〃	28	〃	1
39	G17	鋲	〃	29	〃	9

規格番號	類別番號	名稱	決定年月日	商工省告示番號	右同告示年月日	枚數
40	H1	銅板	大正 15. 6.23	30	昭和 2.10.22	3
41	H2	黃銅板	〃	31	〃	3
42	H3	アルミニウム板	〃	32	〃	3
43	H4	銅棒	〃	33	〃	3
44	H5	ネーバル黃銅棒	〃	34	〃	3
45	H6	高力黃銅棒	〃	35	〃	3
46	H7	火延黃銅棒	〃	36	〃	3
47	H8	挽物用黃銅棒	〃	37	〃	2
48	H9	繼目無銅管	〃	38	〃	3
49	H10	機關車罐用繼目無黃銅管	〃	39	〃	2
50	H11	復水器用繼目無黃銅管	〃	40	〃	2
51	H12	復水器パツキング抑用繼目無黃銅管	〃	41	〃	2
52	H13	一般用繼目無黃銅管	〃	42	〃	3
53	H14	銅地金	〃	43	〃	1
54	K1	銅地金分析方法	〃	18	昭和 3.5.23	12
55	K2	鐵及鋼炭素分析方法	昭和 2.10.3	20	4.5.13	5
56	K3	鐵及鋼珪素分析方法	〃	〃	〃	5
77	G18	罐用繼目無鋼管の寸法	3.10.18	32	5.6.2	1
78	G19	一般用繼目無鋼管の寸法	〃	23	〃	23
79	G20	可鍛鑄鐵品	〃	24	〃	4
80	G21	水道用鑄鐵管	〃	25	〃	3
81	H15	水道用鉛管	〃	26	〃	2
82	H16	亞鉛地金	〃	27	〃	20
83	K4	亞鉛地金分析方法	〃	—	—	1

以上の外設計上の參考及製作規格等本會に關係するも多々あれども追ふて發行するものとす。